SONY

4-400-840-**01**(1)

CD/DVD プレーヤー

DVP-SR20

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4 ～ 6 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。21 ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

設置時や 1 年に 1 度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

➡

❶ 電源を切る

❷ 電源プラグをコンセントから抜く

❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

指のケガに注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

目次

接続と準備

再生する

設定を変更する

困ったときは

その他

本書の読みかた

- 本書では、リモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。リモコンと同じなまえの本体のボタンも同じように使えます。
- 指定されている場合を除き、CD、DVD を総称して「ディスク」と表現しています。
- 機能の説明をわかりやすくするため、**DVD** のような記号を使っています。詳しくは、「再生できるディスク」（20 ページ）をご覧ください。
- 間違った使い方をしないために知っておくべき情報は ❗、知っていると役に立つ情報は 💡 で表現しています。

⚠ 警告

感電

下記の注意事項を守らないと
火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

➡ 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

本機の上に重たいものや不安定なものを置かない

感電や故障の原因となります。

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。また、本機を水滴のかかる場所に置かないでください。

➡ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。

➡ 内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。

本機は室内専用です

乗物の中や船舶の中などで使用しないでください。

本機は国内専用です

交流 100V の電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。
また、コンセントの定格を越えて使用しないでください。

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。

➡ 呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

安定した場所に水平に置く

本機を縦に置いたり、ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

本体の前に物を置かない

ディスクトレイが開く際に、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。

幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

指のケガに注意

コード類は正しく配置する

電源コードや AV ケーブルは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

移動させるとき、すべての AV ケーブルや電源コードを抜く

AV ケーブルや電源コードは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。

移動させるとき、両手で持つ

本機を片手で持つと、落として破損やけがの原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による**大けがや失明**を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

➡ 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

➡ 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

指示

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

➡ 万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

火のそばや直射日光のあたるところなど、高温の場所で使用、保管、放置しない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

⚠注意

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

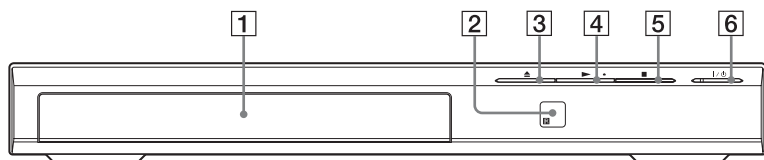
使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

リモコンのフタを開けて使用しない

リモコンのフタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。

各部のなまえ

本体前面

1 ディスクトレイ（12 ページ）

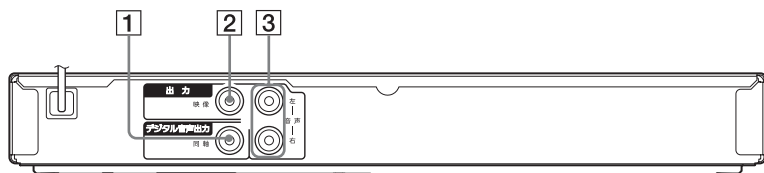
2 Ⓡ（リモコン受光部）

3 ⏏（開 / 閉）ボタン（12 ページ）

4 ►（再生）ボタン（12 ページ）

5 ■（停止）ボタン（12 ページ）

6 I/⏻（電源）ボタン（12 ページ）
本機の電源を入 / 切します。電源を入れるとランプが点灯します。

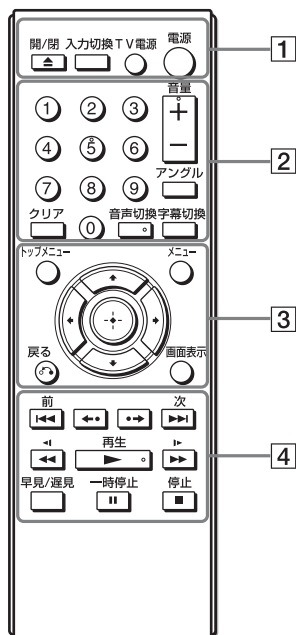
本体後面

1 デジタル音声出力（同軸）端子（11 ページ）

2 映像出力端子（11 ページ）

3 音声出力端子（11 ページ）

➡ 次のページへつづく

リモコン

利用できるリモコンの機能は、ディスクや使用状況によって異なります。

数字の「5」、音量＋、音声切換、▶（再生）には、凸（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。

1 ⏏（開 / 閉）（12 ページ）
ディスクトレイを開 / 閉します。

入力切換（10 ページ）
テレビの入力を切り換えます。

TV 電源（10 ページ）
テレビの電源を入 / 切します。

電源（12 ページ）
本機の電源を入 / 切します。

2 **数字ボタン**
タイトルやチャプターなどの番号を入力します。

クリア
入力内容を消去します。

音量＋ / −（10 ページ）
テレビの音量を調節します。

アングル
DVD ビデオに複数のアングルが記録されているとき、アングルを変更します。

音声切換
DVD ビデオに複数の言語が録音されているとき、押すたびに言語を切り換えます。
DVD（VR モード）では、音声トラックを切り換えます。
CD/ ビデオ CD では、ステレオとモノラルを切り換えます。

字幕切換
DVD ビデオに複数の字幕が記録されているとき、押すたびに字幕を切り換えます。

3 **トップメニュー**
DVD ビデオのトップメニューを表示します。

メニュー
DVD ビデオのメニューを表示します。
JPEG ファイル再生中は、サムネイル一覧の表示やスライドショーを再生します（14 ページ）。

←/↑/↓/→
上下左右に動かして項目を選びます。

⊕（決定）
選んだ項目を決定します。

↶（戻る）（13 ページ）
ひとつ前の画面に戻ります。

画面表示
再生中はコントロールメニュー画面を表示します。この画面から再生の設定を変更できます（13 ページ）。
停止中は本機の設定を変更します（15 ページ）。

4 ⏮/⏭（前 / 次）

前または次のチャプター / トラック / ファイルの先頭に進みます。

←•/•→（フラッシュ）

少し前に戻ります / 少し先に進みます（DVD のみ）。

◀❚◀◀/▶▶❚▶（スキャン / スロー）

再生中に押すと、早戻し / 早送りします。くり返し押すと、早さが変わります。
一時停止中に押すと、スロー戻し / スロー再生します。くり返し押すと、早さが変わります（スロー再生は DVD/ ビデオ CD のみ、スロー戻しは DVD のみ）。

▶（再生）（12 ページ）

再生します。

❚❚（一時停止）（12 ページ）

一時停止または再生を再開します。

■（停止）（12 ページ）

再生を停止します。

早見 / 遅見

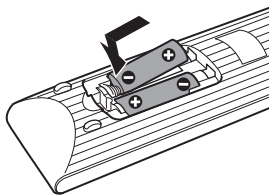
音声付きで早見再生や遅見再生をします。くり返し押すと、早さが変わります。通常の再生に戻るときは ▶ を押します。（DVD/ ビデオ CD のみ）

早見再生 / 遅見再生中は、音声や字幕の切換およびコントロールメニュー画面の表示はできません。

付属品を確認する

次の付属品がそろっているかを確認してください。
• 映像 / 音声ケーブル（1）
• リモコン（1）
• 単 3 形（R6）乾電池（2）
• 保証書（1）
付属品がそろっていないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

リモコンを準備する

リモコンに単 3 形（R6）乾電池（付属）を 2 個入れます。乾電池の ⊕ と ⊖ の向きをリモコンの表示に必ず合わせてください。

付属のリモコンでテレビを操作するには

TV 電源ボタンを押したまま、数字ボタンでメーカー番号を入力してください。
下の表に複数のメーカー番号がある場合は、実際にお試しいただき、テレビが操作できた番号に設定してください。

メーカー	メーカー番号
ソニー	01*
パナソニック	02、13
東芝	03
日立	04
三菱	05
JVC	06
三洋	07、15
シャープ	08
NEC	09
パイオニア	10
フナイ	14
アイワ	17
サムスン	18、19

* お買い上げ時の設定です。

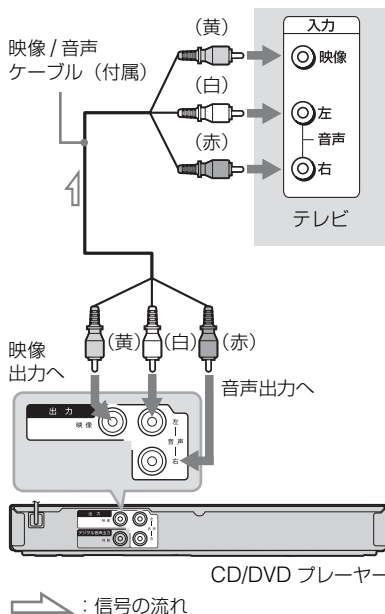
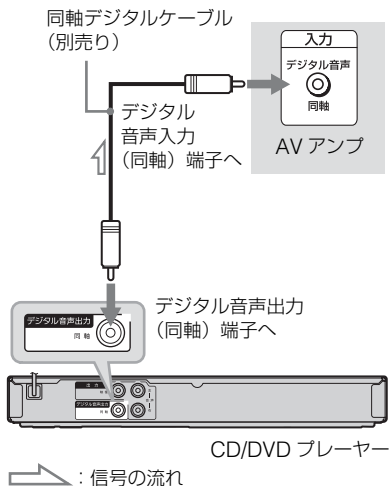
以下のボタンを使ってテレビの操作ができるようになります。
ー TV 電源
ー 入力切換
ー 音量 +/–

• テレビによってはメーカー番号を合わせても操作できないことや、一部のボタンが使えないことがあります。
• リモコンの電池を取り換えたときは、メーカー番号が自動的にお買い上げ時の設定に戻ることがあります。その場合は、メーカー番号をもう一度入力し直してください。

テレビなどにつなぐ

本機とテレビやモニター、AV アンプなどをつなぎます。

- つなぐ機器の取扱説明書をご覧ください。
- 電源コードは、すべての接続が終わってからつないでください。
- ノイズや雑音の原因となるのでプラグは端子にしっかりと差し込んでください。
- 本機はテレビに直接つないでください。本機からビデオデッキなどを経由してテレビにつなぐと、映像が乱れる場合があります。

テレビにつなぐ

AV アンプにつなぐ

電源コードをつなぐ

本機の電源コードをコンセントにつなぎます。

以下の接続を行ったときは、本機の設定が必要です。接続した機器に合った設定を行ってください。

－4：3 のテレビにつないだとき：「テレビタイプ」の設定を行ってください（15 ページ）。

－AV アンプにつないだとき：「音声デジタル出力」、「ドルビーデジタル」、「DTS」の設定を行ってください（16 ページ）。

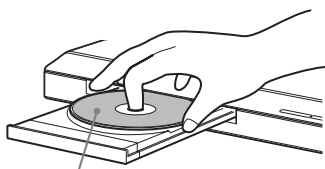
ディスクを再生する

DVDVideo DVDVR VCD CD DATA

再生できるディスクについては、「再生できるディスク」（20 ページ）をご覧ください。

1 **本機とテレビの電源を入れる。**

2 **本機の映像が映るように、テレビの入力を切り換える。**

3 **⏏ を押してディスクトレイを開け、ディスクを置く。**

再生したい面を下に

4 **► を押す。**
ディスクトレイが閉まり、再生が始まります。テレビまたは AV アンプで音量を調節します。
ディスクによって、テレビ画面にメニューが表示されます。←/↑/↓/→ で項目を選び、決定ボタンを押してください。

再生を停止するには

■ を押します。

再生を一時停止するには

❚❚ を押します。

スクリーンセーバーと自動電源オフについて

ディスクの再生中以外のとき、何も操作されないまま 15 分が経過すると、スクリーンセーバーが作動します（16 ページ）。► を押すと、スクリーンセーバー画面は消えます。
ディスクの再生中以外のとき、何も操作されないまま 30 分が経過すると、本機の電源が自動的に切れます（自動電源オフ機能）（16 ページ）。

再生を止めたところから再生するには（つづき再生）

DVDVideo DVDVR VCD CD

再生を止めたあと再び ► を押すと、■ を押したところから再生を始めます。

- 再生を止めたところによっては、つづき再生の始まりがずれることがあります。
- 次の場合、再生を止めたところの記録は消え、つづき再生できません：
  ー ディスクトレイを開いたとき。
  ー 電源コードを抜いたとき。

DVD（VR モード）についてのご注意 DVDVR

- DVD（VR モード）のディスクは再生開始までに時間がかかります。
- プレイリストがあるディスクでは、コントロールメニュー画面から「プレイリスト」と「オリジナル」を切り換えられます。再生中はできませんので、切り換える場合は、■ を 2 回押してつづき再生を解除してから画面表示ボタンを押してください。

PBC（プレイバックコントロール）機能を使うには VCD

PBC 機能のあるビデオ CD は、メニューが表示され、メニューにしたがって再生できます。数字ボタンで項目の番号を選び、決定ボタンを押します。表示される指示にしたがって操作してください。

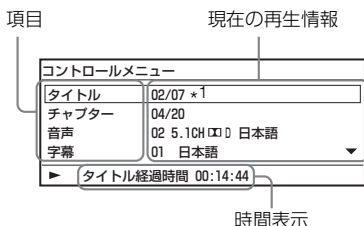
コントロールメニュー画面を使う

DVDVideo DVDVR VCD CD

再生情報を確認できます。タイトルやチャプターを選んだり、音声や字幕などを変更することもできます。

1 画面表示ボタンを押す。

コントロールメニュー画面が表示されます。

例：DVD ビデオを再生中

2 ↑/↓ と決定ボタンを押して、次の各項目を選択し操作する。

- タイトル *2
- チャプター *2
- 音声
- 字幕
- アングル *2
- タイトル時間
- チャプター時間
- リピート
- A-B リピート *3
- 時間表示
- 設定 *4

*1 DVD（VR モード）再生中は、タイトル番号の横に「プレイリスト」または「オリジナル」と表示されます。

*2 ↑/↓ を使って数字を選ぶこともできます。

*3 ↑/↓ で「設定」を選び、決定ボタンを押します。さらに決定ボタンを押して A 点と B 点を選びます。

*4 再生中は本機の設定を変更することはできません。停止中に行ってください（15 ページ）。

- CD やビデオ CD のときは、関連する項目のみが表示されます。
- ディスクによっては、コントロールメニュー画面を使えない場合があります。
- ディスクによっては、設定できない項目があります。
- つづき再生停止時では、設定できない項目があります。
- 数字を入力してタイトルやチャプターの頭出しをすると、リピート設定が解除されます。

コントロールメニュー画面を閉じるには

画面表示ボタンまたは ↶ を押します。

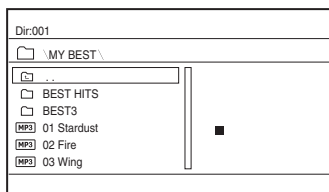
コントロールメニュー画面を使わなくても、タイトルやチャプターの番号を直接入力してダイレクトサーチができます。
再生中にタイトルやチャプター、トラックの番号を入力し、決定ボタンを押します。DVD のタイトルとチャプターを切り換えるには、←/→ を押します。（DVD ビデオ /CD/ ビデオ CD の「PBC」を「切」に設定しているときのみ。）

MP3/JPEG ファイルを再生する

DATA

本機では、MP3/JPEG ファイルを再生できます。再生できるファイルについては、「再生できるディスク」（20 ページ）をご覧ください。
データファイルを読み込むとアルバムの一覧が表示されます。ディスクによって自動的に再生が始まることがあります。

1 ↑/↓ でアルバムを選び、決定ボタンを押す。

アルバム内のファイルの一覧が表示されます。
例：MP3 ファイルの一覧

前後のページを表示するには、⏮ または ⏭ を押します。

2 ↑/↓ でファイルを選び、決定ボタンを押す。

選んだファイルから再生が始まります。

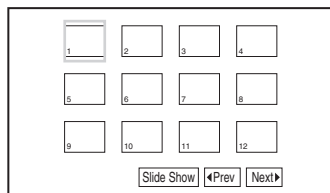
ファイルによって、再生が始まるまで時間がかかったり、再生ができないこともあります。再生できるファイルについては、「再生できるディスク」（20 ページ）をご覧ください。

JPEG ファイルを再生する

画像を回転させるには

画像を表示中に、←/↑/↓/→ を押します。
→：時計回りに 90 度回転
←：反時計回りに 90 度回転
↑：上下に反転
↓：左右に反転

サムネイルの一覧を表示するには

メニューボタンを押します。
アルバム内の画像ファイルが、12 個の小画面（サムネイル）で表示されます。

前後のページを表示するには、「◀Prev」または「Next▶」を ←/↑/↓/→ で選び、決定ボタンを押します。

スライドショーを楽しむには

サムネイルの一覧にある「Slide Show」を←/↑/↓/→ で選び、決定ボタンを押します。

サムネイルの一覧表示を終了するには

メニューボタンを押します。
ファイルの一覧に戻ります。

本機の設定を変更する

設定画面を使って、画質や音声などさまざまな設定ができます。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。
あらかじめ再生条件が設定されているディスクでは、ディスクの情報が有効になります。

1 停止中に画面表示ボタンを押す。
コントロールメニュー画面が表示されます。
つづき再生停止時は設定画面が使用できません。■ を 2 回押してつづき再生を解除してから画面表示ボタンを押してください。

2 ↑/↓ で「設定」を選び、決定ボタンを押す。
設定画面が表示されます。

3 ↑/↓ で設定したい種類を選び、決定ボタンを押す。

- : 一般設定
- : オーディオ設定
- : 言語設定
- : 視聴制限

4 ↑/↓ と決定ボタンを押して、次の各項目を選択し調整する。

設定画面を終了するには

画面表示ボタンまたは を押します。

一般設定

◆テレビタイプ（DVD のみ）

接続するテレビの画面の種類を設定します。

4:3 パンスキャン	4:3 画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示する。
4:3 レターボックス	4:3 画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示する。
16:9	ワイドテレビまたは、ワイドモードのあるテレビとつなぐとき。

テレビとディスクの組み合わせによっては、画像がご希望の形に表示されないことがあります。その場合は、テレビの設定と組み合わせてご確認ください。

◆アングルマーク（DVD ビデオのみ）

複数のアングルが記録された DVD を再生するとき、画面にアングルマークを表示するように設定します。

入	アングルマークを表示する。
切	アングルマークを表示しない。

➡ 次のページへつづく

◆スクリーンセーバー

ディスクの再生中以外のとき、何も操作されないまま 15 分が経過すると、スクリーンセーバーの画面に切り換わるよう設定します。画像の焼き付き（残像現象）を防ぐのに役立ちます。

入	スクリーンセーバーを使う。
切	スクリーンセーバーを使わない。

◆自動電源オフ

ディスクの再生中以外のとき、何も操作されないまま 30 分が経過すると、自動的に電源が切れるように設定します。

入	自動電源オフ機能を使う。
切	自動電源オフ機能を使わない。

◆ PBC（プレイバックコントロール）（ビデオ CD のみ）

PBC 機能のあるビデオ CD で、対話型の再生や検索を楽しむときに設定します。

入	PBC 機能により、メニューからビデオ CD を再生できる。
切	PBC 機能を使わない。

◆初期値

この設定を実行すると、各設定値が工場出荷時の初期値に戻ります。すべての項目がお買い上げ時の設定に戻るので、ご注意ください。

オーディオ設定

◆オーディオ DRC（ダイナミックレンジコントロール）（DVD のみ）

オーディオ DRC 対応の DVD で、音量を下げて聞くときに設定します。

スタンダード	通常はこの設定にする。
テレビ	小さい音までよく聞こえるようにする。
ワイドレンジ	ライブ音声のような迫力のある音にする。

本機のデジタル音声出力（同軸）端子で接続した場合は、「ドルビーデジタル」を「ダウンミックス PCM」に設定したときにこの機能の効果があります。

◆音声デジタル出力

本機のデジタル音声出力（同軸）端子から音声デジタル信号を出力するかしないかを設定します。

入	通常はこの設定にする。 この設定を選んだら、「ドルビーデジタル」と「DTS」を設定する。
切	デジタル回路がアナログ回路に与える影響を最小限に抑えられる。

「音声デジタル出力」で「入」を選んだときは、「ドルビーデジタル」および「DTS」を設定してください。つないだ機器に合っていない設定をしていると、音が出なかったり異音が出て耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがあります。

◆ドルビーデジタル（DVD のみ）

ドルビーデジタル信号のデジタル出力方式を選びます。
「音声デジタル出力」が「入」の場合のみ、この設定ができます。

ダウンミックス PCM	ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。
ドルビーデジタル	ドルビーデジタルデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。

◆ DTS

DTS 信号をデジタル出力するかしないかを選びます。
「音声デジタル出力」が「入」の場合のみ、この設定ができます。

入	DTS デコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。
切	DTS デコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。

Åçä 言語設定

◆画面表示言語

画面の表示言語を切り換えます。

◆ディスクメニュー（DVD ビデオのみ）

ディスクのメニューの言語を切り換えます。

◆字幕（DVD ビデオのみ）

字幕の言語を切り換えます。

◆音声（DVD ビデオのみ）

音声の言語を切り換えます。

視聴制限

視聴制限機能がある DVD の視聴制限レベルを設定します。

◆暗証番号（DVD ビデオのみ）

暗証番号の入力や変更を行います。この番号が視聴制限を設定するための暗証番号となります。数字ボタンを使って、4 桁の暗証番号を入力してください。

暗証番号を変更するには

↑/↓ と決定ボタンで「暗証番号」を選び、「変更」を選びます。現在の暗証番号と新しい暗証番号を入力してください。

登録した暗証番号を忘れたときは

忘れてしまった暗証番号の代わりに「1369」を入力してください。

◆視聴制限（DVD ビデオのみ）

視聴制限レベルを設定します。設定するレベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。この設定をするためには、先に暗証番号を設定してください。

視聴制限を設定するには

↑/↓ と決定ボタンで「視聴制限」を選び、制御するレベルを選びます。暗証番号を入力してください。

視聴制限機能がある DVD を再生するには

ディスクを入れて ► を押すと、視聴制限の暗証番号入力画面が表示されます。数字ボタンで暗証番号を入力してください。

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口（裏表紙）またはソニーサービス窓口、お買い上げ店にお問い合わせください。

電源

電源が入らない。

➡ 電源コードがしっかり差し込まれているか確認してください。

電源が自動的に切れる。

➡「自動電源オフ」が「入」になっています（16 ページ）。

映像

映像が出ない、乱れる。

➡ 接続ケーブルのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください。
➡ 接続ケーブルが断線していないか確認してください。
➡ テレビの接続（11 ページ）と本機の設定（15 ページ）を確認し、テレビの入力を本機の映像が映るように切り換えてください。
➡ ビデオデッキを経由してテレビに接続したり、ビデオ一体型テレビに接続していると、一部の DVD プログラムに使用されているコピープロテクション信号が画質に悪影響を及ぼす可能性があります。本機はテレビに直接つないでください。

設定画面の「一般設定」の「テレビタイプ」で設定した画像の形で再生できない。

➡ 画像の形が固定されているディスクを再生していないか確認してください。

音声

音が出ない。

➡ 接続ケーブルのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください。
➡ 接続ケーブルが断線していないか確認してください。
➡ アンプの接続（11 ページ）と本機の「オーディオ設定」（16 ページ）を確認し、アンプの入力を本機の音声が出るように切り換えてください。
➡ 一時停止、スロー再生になっていないか確認してください。
➡ 早送りまたは早戻しになっていないか確認してください。

音が小さい。

➡ DVD によっては、再生時の音量が小さい場合があります。「オーディオ DRC」を「テレビ」に設定（16 ページ）すると、改善されることがあります。

操作

リモコンで操作できない。

➡ 電池が消耗していないか確認してください。
➡ リモコンと本体との間に障害物がないか確認してください。
➡ リモコンと本体との距離が離れすぎていないか確認してください。
➡ リモコンを本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
➡ リモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たっていないか確認してください。

再生が始まらない。

➡ ディスクが裏返しに入っていると、「ディスクなし」または「このディスクは再生できません」と画面に表示されます。ラベル面（または再生しない面）を上にしてください（12 ページ）。
➡ ディスクが斜めにずれて入っていないか確認してください（12 ページ）。
➡ ディスクに汚れや傷がないか確認してください（22 ページ）。
➡ 再生できないディスクを入れていないか確認してください（20 ページ）。
➡ 正しくファイナライズされていない録画用ディスクを入れていないか確認してください（20 ページ）。
➡ 本機で再生できない地域番号のDVDを入れていないか確認してください（21 ページ）。

➡ 視聴制限が設定されていませんか。設定を変更してください（17 ページ）。
➡ 結露していないか確認してください（21 ページ）。

再生が自動的に始まったり、止まったりする。

➡ ディスクによっては自動的に再生が始まります。
➡ ディスクによってはオートポーズ信号のところで自動的に再生が止まります。

再生がディスクの最初から始まらない。

➡ リピート再生（13 ページ）が設定されていないか確認してください。
➡ つづき再生になっていないか確認してください（12 ページ）。
➡ プレイリストを作成したディスクでは自動的にプレイリストが再生されます。「オリジナル」のタイトルを再生したいときは、画面表示ボタンを押して「オリジナル」に設定してください（12 ページ）。

通常のスピードで再生されない。

➡ 早見再生 / 遅見再生になっている可能性があります。▶ を押すと通常再生に戻ります（9 ページ）。

再生までに時間がかかる。

➡ DVD（VR モード）のディスクは、再生開始までに時間がかかります。

再生中に静止する。

➡ DVD+R DL/DVD-R DL ディスクを再生しているときは、層の切り換わり時に再生が静止することがあります。

字幕が消える。

➡ 再生中に再生スピードを変えたり、シーンを飛ばしたりすると、一時的に字幕が消えます。

ボタンを押したとおりの操作ができず、「⊘」が表示される。

➡ ディスクによって操作を禁止しているものがあります。ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。

MP3/JPEG ファイルを再生できない。

➡ ファイルのフォーマットや拡張子が準拠しているか確認してください（20 ページ）。
➡ ファイルが壊れていないか確認してください。
➡ 画サイズが大きすぎないか確認してください（20 ページ）。

アルバム名やファイル名が正しく表示されない。

➡ 本機は数字とアルファベットしか表示できません。その他の文字は「＊」で表示されます（20 ページ）。

本機が正常に動作しない。

➡ 静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、電源コードを抜いてください。

再生できるディスク

アイコン	特性
DVDVideo	• 市販の DVD • DVD+RW/DVD+R/DVD+R DL（+VR モード） • DVD-RW/DVD-R/DVD-R DL（ビデオモード）
DVDVR	DVD-RW/DVD-R/DVD-R DL（VR モード）
CD	• 音楽用 CD • 音楽用 CD フォーマットの CD-R/CD-RW
VCD	• ビデオ CD • ビデオ CD フォーマットの CD-R/CD-RW
DATA	MP3 や JPEG ファイルが入ったデータ CD*[1]/ データ DVD*[2]

• 記録済みのディスクには、傷や汚れ、また記録状態やレコーダー、書き込みソフトの特性が原因で再生できないものがあります。
すべての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ作業をしていないディスクは再生できません。
詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。
• AVC REC 方式や HD Rec 規格で記録された DVD は、本機では対応していないため、再生できません。
• 本機は NTSC カラーテレビ方式対応のため、NTSC 以外のカラーテレビ方式（PAL など）で記録されたディスクは再生できません。

*[1] ISO9660 のレベル 1/Joliet 準拠のデータ CD。
*[2] UDF（ユニバーサルディスクフォーマット）準拠のデータ DVD。

再生できるファイルの種類

種類	ファイル形式	拡張子
音楽	MP3（MPEG-1 Audio Layer III）	「.mp3」
写真	JPEG（DCF 形式）	「.jpg」、「.jpeg」

• 多くの階層やアルバムを持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。以下のようにすることをおすすめします。
 ー ディスクにアルバムを記録するときは第 2 階層までにする。
 ー ディスク内のアルバム数は 50 以下にする。
 ー ひとつのアルバム内のファイル数は 100 以下にする。
 ー ひとつのディスク内のアルバムとファイルの合計数は 600 以下にする。
• ディスクに記録された順番に再生します。

• MP3 や JPEG 形式以外のデータに「.mp3」や「.jpg」、「.jpeg」の拡張子をつけないでください。本機はそれらを再生してしまい、雑音や故障の原因となります。
• パケットライト形式で作成されたデータ CD/ データ DVD は再生できません。
• マルチセッション形式で作成されたデータ CD/ データ DVD は再生できないことがあります。
• JPEG 画像ファイルによっては、再生できないものがあります。
• ノーマルモードで 3264（幅）× 2448（高さ）以上の JPEG ファイル、またはプログレッシブモードで 2000（幅）× 1200（高さ）以上の JPEG ファイルは再生できません。
• 本機で表示できるファイル名 / アルバム名は最長で 14 文字です。表示できない文字は「＊」で表示されます。
• 本機で表示できるアルバム名は選択中のアルバム名のみです。それより上の階層のアルバム名は「\..\」と省略されます。
• ファイルによっては再生情報が正しく表示されない場合があります。

市販のディスクについてのご注意

地域番号（リージョンコード）について

著作権保護を目的に設けられた制度です。
市販の DVD のパッケージには販売地域によって、地域番号が表示されています。
地域番号に「ALL」または「2」が含まれているときは、本製品で再生可能です。

DVD、ビデオ CD の再生操作について

DVD、ビデオ CD はソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本製品はソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

音楽ディスクの再生について

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として設計されています。
DualDisc および著作権保護技術を採用する一部の音楽ディスクは CD 規格に準拠していないことから、本製品ではご使用いただけない場合があります。

著作権について

- 本製品は、Fraunhofer IIS および Thomson の MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- 本製品の日本語表示には、株式会社リコー所有の文字フォントを使用しています。

商標について

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- “DVD ロゴ” は DVD フォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。

使用上のご注意

CD/DVD プレーヤーはコンセントの近くでお使いください。本機をご使用中、異常なにおい、煙が出たときはすぐにコンセントから電源プラグを抜き、電源を遮断してください。
通常、本体の電源ボタンで電源を切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

設置場所について

次のような場所には置かないでください。
- 振動の多い所。
- 直射日光が当る所、湿度が高い所。
- 極端に寒い所、極端に暑い所。
- 電子レンジや大音量スピーカーなど磁気の強いものから近い所。

設置場所を変えるときは

ディスクを入れたまま、本機を動かさないでください。ディスクを入れたまま動かすと、ディスクを傷めることがあります。

結露（露つき）について

結露とは空気中の水分が冷えた金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋で、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。
結露が起きた場合、結露がなくなるまで、そのまま放置してください。結露があるときにご使用になると、故障の原因になります。

残像現象（画像の焼きつき）について

本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象を起こす場合があります。

再生を開始するときは

音量を必ず下げておきましょう。始めから音量を上げていると思わぬ大きな音が出てスピーカーを破損させたり、ヘッドホンで聞いている場合には耳を傷めるおそれがあります。

映画や音楽を楽しむときは

映画や音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

➡ 次のページへつづく

本体のお手入れについて

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

クリーニングディスクについて

レンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

ディスクの取り扱いについて

- 再生面に手を触れないように持ちます。

- 直射日光が当たるところなど温度の高い所、湿度の高い所、直射日光が当たって高温になった車内には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。

- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- ラベル印刷したディスクは印刷面が乾いてからお使いください。
- 次のようなディスクは使用できません。
  - 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型、星型など）をしたディスク
  - 紙やシールの貼られたディスク
  - セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク

主な仕様

システム

形式：CD/DVD プレーヤー
信号方式：JEITA 標準、NTSC カラー方式

出力端子

映像出力：ピンジャック
音声出力　右 / 左：ピンジャック
デジタル音声出力（同軸）：ピンジャック

電源、その他

電源：AC 100 V、50/60 Hz
消費電力：5 W
最大外形寸法：270 × 38.5 × 209 mm（幅 / 高さ / 奥行き）（最大突起部分を含む）
質量：950 g
許容動作温度：5 ～ 35 ℃
許容動作湿度：25 ～ 80%

付属品

10 ページをご覧ください。

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービス

◆調子が悪いときはまずチェックとご相談を

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

◆それでも具合が悪いときはソニーの相談窓口へ

ソニーの相談窓口（裏表紙）へご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：DVP-SR20
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 再生していたディスクのタイトル名：
- 再生していたディスクの種類（DVD ビデオ、DVD-RW、DVD-R など）：
- つないでいるテレビなどのメーカーと型名：
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

◆保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

◆保証期間の経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

◆部品の保有期間について

当社では、CD/DVD プレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後 5 年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

◆部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

ラ行

アルファベット / 数字順

製品登録のおすすめ

ソニーは、製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、製品登録をお願いしております。詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。

パソコンから
http://msc.sony.jp/pbd-regi/

携帯電話から
http://reg.msc.m.sony.jp/dvd/

2次元コードでアクセス

2次元コード対応のカメラつき携帯電話の読み取り機能でご利用ください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

http://www.sony.jp/support/

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・ **0120-333-020**
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ **0466-31-2511**

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・ **0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ **0466-31-2531**

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「102」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通） **0120-333-389**

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

4-400-840-**01**(1)

Printed in China